

| 学年 | 教科 | 科目 | 教科書名 | 副教材名 |
|----|------|----|------------|------|
| 高2 | 保健体育 | 保健 | 現代保健体育 改訂版 | なし |

1. 授業のねらい

保健の授業は、人間と「健康」の関わりをテーマとして展開されます。高校生の時期は、急激なからだの成長と、めざましい精神的成熟のさなかであり、将来を見すえて、たくましく前進しようとするときである反面、新たにふみだそうとする大人の世界の不明確性に深い不安と動揺をおぼえ、きわめて複雑な心境に揺れ動いています。こうした揺れ動く状況のなかで、私たちは自分自身の成長・発達をしっかりと受け止め、さまざまな課題に対処していく必要があります。私たちは一人ひとりが「たった一回かぎりの貴重な人生を今生きているのだ」という厳粛な事実を明確に自覚し、自分や他の人の生命と生活を心から尊重して、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につけていかなければなりません。「保健体育」の授業を通じて、これらの課題に対して積極的に取り組めるよう、健康的な生活を明るく前向きに展開すること、生涯を通じて充実した人生が送れるよう、よく考え賢明に行動することを身につけてもらいたいと思います。

そのためには、まず健康で活力あふれるからだをつくり、体力や運動技術のすこやかな向上を常に心がけていく必要があります。

2. 授業のすすめ方

- (1) 教科書とタブレット端末を使って、実際の生活に置き換えて健康について考えながら授業をすすめます。
- (2) 単元により、個人での調べ学習またはグループディスカッションをし、それをもとにプレゼンテーションを行います。
- (3) それぞれの生活観や健康観の違いがあるでしょうが、お互いに「生活の質 (Quality of Life)」が高められるように、意見交換しながら授業をすすめます。

3. 学習上の留意点

板書はノートに書き写してください。また、後から見直して理解できるように、色分けをしたり、先生の説明を書き入れる等の工夫をしてください。板書ノートは担当教諭の指示があった時には、提出をしてください。

タブレット端末の管理を徹底してください。また、授業で配信された画像・動画などの流用、検索時の不正アクセスなどを絶対にしないでください。

4. 副教材・参考文献

○なし

5. 評価方法

- (1) 評価は定期考査の結果と授業の取り組み（質問への姿勢、発言）ノートを評価する平常点で合わせて評価します。
- (2) 評価の内訳
 - ① 定期考査 100点
 - ② 平常点 20点
- (3) 定期考査の100点分を8割にし、平常点20点分を足して100点満点となります。

6. 定期考査

- (1) 学期ごと定期考査を行います。
- (2) 出題内容は、教科書、授業での板書や配布物（参考資料）から出題します。
- (3) 授業中の説明や事例を自分に置き換えて、授業に取り組んでください。

指導計画

| 期 | 月 | 単元名・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 | | | |
|-------------|-----|---|---|--|--|---|---|
| 一 学 期 | 四月 | 【2単元 生涯を通じる健康】 1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取り組み | ノート・授業への取り組み ノート提出 1学期期末考査 | ・異性への関心が高まるこの時期性について正しい理解を深め「愛と性」について考える。 ・男性と女性の生殖器の発達と性機能について理解する。 ・「結婚とは…」という問題に触れ将来の自分自身の家族計画について考える。 ・性周期、妊娠・出産について理解する。 ・加齢に伴う健康問題について理解する。 ・リハビリテーションの必要性、重要性について理解する。 | | | |
| | 五月 | | | | | | |
| | 六月 | | | | | | |
| | 七月 | | | | | | |
| | 九月 | | | | 8. 保健制度とその活用 9. 医療制度とその活用 10. 医薬品と健康 【3単元 社会生活と健康】 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策 4. 環境衛生活動のしくみと働き | ノート・授業への取り組み ノート提出 2学期学期末考査 | ・保健制度の内容と活用法について理解する。 ・医療制度の内容と活用法について理解する。 ・医薬品の役割、正しい使い方、安全性のための対策を理解する。 ・私たちの健康と行政との関わり役割について理解する。 ・大気汚染発生の状況と健康被害を理解する。 ・水質汚濁発生の状況と健康被害を理解する。 ・土壌汚染発生の状況と健康被害を理解する。 ・産業廃棄物を知り、適切な処理法を理解する。 ・ごみ処理と上下水道の整備の仕組みと働きを知り、問題点や対策を理解する。 |
| | 十月 | | | | | | |
| | 十一月 | | | | | | |
| 十二月 | | | | | | | |
| 三 学 期 | 一月 | 5. 食品衛生活動のしくみと働き 6. 食品と環境の保健と私たち 7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活 | ノート・授業への取り組み ノート提出 3学期学期末考査 | ・食品が及ぼす健康被害と安全な食品について理解する。 ・働くことの意義を考えながら、将来の夢についても考える。 ・職場環境、仕事内容と健康との関わりについて理解する。 ・職場環境と災害について考え、問題点をさぐる。 ・健康を損なわない職場をつくるための企業の役割を考えながら自身の重要性について理解する。 | | | |
| | 二月 | | | | | | |
| | 三月 | | | | | | |

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。